

報道関係各位



平成 24 年 11 月 30 日

ビール酒造組合

「STOP！ 未成年者飲酒」プロジェクトについて

ビール酒造組合(会長代表理事:小路明善)及び会員であるビール 5 社(アサヒビール(株)・麒麟ビール(株)・サッポロビール(株)・サントリー酒類(株)・オリオンビール(株))は、未成年者の飲酒防止を目的として平成 17 年より「STOP！ 未成年者飲酒」プロジェクトを展開してきましたが本年も、春期(4月)に引き続き12月に冬のキャンペーンを実施いたします。

本プロジェクトでは未成年者飲酒防止を呼びかけるメッセージを毎回作成し、全国9エリア(首都圏、中京地区、京阪神地区、四国地区、札幌市、仙台市、広島市、福岡市、那覇市)で発信しております。媒体につきましては、交通広告(駅貼り・ステッカー)を中心に、トレインチャンネル・インターネット広告等にも引き続き出稿いたします。

また、日本フランチャイズチェーン協会、日本チェーンストア協会、日本ボランタリー・チェーン協会、日本カラオケボックス協会連合会の協力を得て、各協会の加盟社における店頭、店舗内で未成年者飲酒防止の告知活動を展開してまいります。

毎回キャンペーン後に首都圏・関西圏で効果測定を実施していますが、本年5月に実施した調査でも春の「STOP！ 未成年者飲酒」キャンペーンの認知度は8割を超えており確実に成果を挙げております。

■展開メッセージ

「なぜ、未成年者の飲酒はいけないのか」を、主に未成年者の身体への影響の観点と、未成年者を取り巻く社会の観点からメッセージを作成し、展開します。(別紙 《メッセージ》 参照)

■展開期間・内容

本年冬のキャンペーンを平成24年12月月間で展開いたします。

<交通広告の実施>

全国 9エリア(首都圏、中京地区、京阪神地区、四国地区、札幌市、仙台市、広島市、福岡市、那覇市)の駅頭、車内において未成年者飲酒防止のメッセージ告知を行っていきます。

<ラジオ番組の利用>

沖縄では屋外映像や新聞広告に加え、ラジオ放送を通じて訴求を行います。人気のあるパーソナリティーから、未成年者飲酒防止のメッセージを語っていただきます。

<インターネットの利用>

Yahoo!、BIGLOBE、@nifty、@NetHome、@T COM にて診断形式の広告を展開してまいります。

<トレインチャンネルの利用>

JR 東日本にてアニメーションを出稿いたします。

<コンビニエンスストア業界・スーパーマーケット業界他の協力参加>

「STOP！ 未成年者飲酒」のシンボルマークをデザインした POP 類を利用し、告知活動に参加していただきます。

<主催> ビール酒造組合 <後援> 国税庁、内閣府、厚生労働省



《メッセージ》

『脳がNO！からだかNO！』

- ・ 「つきあいが悪い」なんて言われたってどーでもいい。一生つきあっていくこの脳と内臓のほうが大いじなんで。
- ・ 「20歳までお酒はダメ」って言ってたの、世間体じゃなくて、わたしの体を気にしてくれていたんだね。
- ・ 知っていましたか？医療が発達した現代ですら、未成年者飲酒によるダメージは治すことが困難なのです。
- ・ あなたの脳や内臓は何も言いませんが、未成年者飲酒に100%反対なはずですよ。

『社会がNO！ルールだからNO！』

- ・ 10代にお酒を勧めるセンパイは、一発退場！大人として、ありえません。
- ・ まだ10代のウチの子にお酒を飲ませようとする奴は、法律も許さないし、私も許さない！！
- ・ いつの間にか大人になってる親せきの子。お酒を勧めるまえに、「いくつになった？」と聞いてください。
- ・ ひとりが破ると「まあいいだろ」になってしまいそう。「ちょっとひとクチ」も、みんなNO！

この件に関するお問合せ先：

ビール酒造組合 広報担当

東京都中央区京橋 2-8-18 TEL 03(3561)8386 FAX03(3561)8380

ホームページ <http://www.brewers.or.jp>